

それぞれの願いを書いた短冊を流す子どもたち



雛 短冊に願いをこめて 「第51回柳川流し雛祭り」

水郷柳川の春の風物詩「第51回柳川流し雛祭」が4月3日、柳川古文書館前の掘割で行われました。これは柳川雛祭り・さげもんめぐりのフィナーレを飾るイベント。子どもたちや保護者ら約260人が、13艘のどんこ舟に乗船。神事後、子どもたちは短冊を流しながら日吉神社までパレードしました。短冊には「成績が上がりますように」「コロナが早く収束して、元の生活に戻れますように」など、子どもたちの思いや願いが書かれていました。

どんこ舟で掘割を進むおひな様とお内裏様たち



お ひな様が華やかに春を彩る おひな様水上パレードを開催

4月3日まで開催された「柳川雛祭りさげもんめぐり」。3月20日は、メインイベントの「おひな様水上パレード」が開催されました。おひな様やお内裏様、着飾った子どもたちなど、約100人が参加。さげもんんで彩られた沖端から三柱神社までの掘割を11艘のどんこ舟でゆっくりとパレードしました。また、当日は沖端さげもんパークでマルシェを開催。沖端地区はパレードにカメラを向ける人やマルシェを楽しむなどで、雛祭り期間中一番のにぎわいを見せました。

馬上からの的へ狙いを定める射手



満 開の桜の下で射手駆ける 三柱神社で流鏝馬奉納

高畑公園桜まつり期間中の3月27日、流鏝馬が三柱神社に奉納されました。満開の桜が咲いた会場には、流鏝馬を見ようと大勢の写真愛好家や花見客らが参道脇に詰めかけました。狩り装束を着た小笠原流流鏝馬武徳会宗家の射手たちが馬上から矢を放ち、約300メートルの参道に置かれた3つの的を射抜くと、会場から大きな歓声が上がっていました。初めて流鏝馬に訪れた見物客は「迫力のある馬体に驚いた」と話していました。

時代に翻弄される宗茂と閻千代を熱演する団員



夫 婦の激動の日々を一挙舞台化 くもで座創立20周年記念公演

創立20周年を迎えた市民劇団「くもで座」の3月公演が3月27日、水の郷ホールでありました。水の郷が開館した翌年の平成14年に旗揚げした同劇団。今回上演した「柳河国盗り物語総集編1」は、立花宗茂とその妻閻千代の出会いから関ヶ原の戦いまでを描いています。団員たちは、どんなときも義を貫いた宗茂や、領民を守る強い使命感を持つ閻千代などを熱演。また、時代に翻弄される夫婦の微妙な距離感を表現し、訪れた184人の観客を魅了しました。

まちかど レポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 (☎77・8425)

野 外でみんなが楽しめる催しを 1500人もの家族連れでにぎわう

4月10日、立花いこいの森公園で「BABY GO16」が開催されました。子どもから大人まで楽しめる野外イベントを開こうと、市商工会青年部が中心となって企画。ステージでは沖の石太鼓を皮切りに、キッズダンスなど市内外の団体が次々にパフォーマンスを披露しました。また、設置された巨大なふわふわ遊具には、子どもたちが長い列を作っていました。この他、会場には地元の露店が多数出店。会場は1500人が訪れるほどのにぎわいを見せました。

カビの色や生え方を確認する地元役員



カ ビで1年の吉兆占う 鷹尾神社で伝統の粥占い

鷹尾神社で3月17日、数百年続くといわれる粥占いが行われました。これは、粥に生えたカビで、その年の吉兆を占う伝統行事。風水害や農漁業の出来具合など12項目を占いました。毎年、旧暦の1月15日に3合の米を炊き、密封。旧暦の2月15日に粥の入った器を開封して占います。この日は、地元の役員が神社に集まり、粥に生えたカビを全員で確認。占いの結果、「今年は、総合的には平穏だが、干天や妻には注意が必要」との結果が出ました。



①子どもに大人気だった巨大遊具は常に長蛇の列②気温20度を超える晴天の中、元気に走り回る子どもたちの姿が多く見られた③ステージで披露されたキッズダンス



受賞を報告した竹井清さん(中央)と妻澄子さん(左)



国 際交流活動に長年貢献 西日本国際財団アジア貢献賞を受賞

柳川国際青少年ロッジ代表の竹井清さん(76歳)が、西日本国際財団アジア貢献賞を受賞しました。この賞は国際交流活動に長年貢献した人に贈られるもの。竹井さんは、アフリカでの人道支援や日本での留学生支援、タイや韓国の子どもの交流などの活動を50年以上継続しています。3月28日、金子市長に受賞を報告した竹井さんは「柳川の子どもたちが世界に出て評価されるよう、英語やコミュニケーション能力を育てていきたい」と今後の抱負を述べました。